



炎天夏

和歌山県立有田中央高等学校 清水分校 マンスリータイムズ

平成24年8月号 タイトル題字 2年 中西美咲・澤田美奈子

2年生・介護実習 7月27日(金)

2年生は、本校の福祉施設をお借りして、介護実習を行いました。

- 1限 コミュニケーションの方法 声かけの大切さを学ぶ
- 2限 食事の介護 ベッドに寝たままの人に、食事をしてもらう
- 3限 移動の介護 ベッド、車いすの交互移動補助
- 4限 ベッドメイキング シーツを綺麗にセットする



「移動の介助では、普段使わない筋肉を使ったし、体力もかなりいったのでたいへんだなと思った。利用者の様子を気かけながら介助する事が大切である事を学びました」(男子感想)

「介護はする方も大変ですが、される側の大変さや、恥ずかしさといったものも気づけた貴重な体験でした。本校の名原先生を初め、梨木先生、大谷先生、どうもありがとうございました」(女子感想)



平和学習 8月6日(月)

清水文化センターをお借りして、TBS スペシャルドラマ「さとうきび畑の唄」を全校生徒で鑑賞しました。『平山(明石家さんま)は那覇で小さな写真館を営む、ただただ人の良い男。良家の子女・美知子(黒木瞳)と駆け落ちして那覇へ。今や、学校の先生をしている紀子(仲間由紀恵)と結婚が決まった長男・勇(坂口憲二)、次男・昇(勝地涼)、長女・美枝(上戸彩)、次女・春子(大平奈津実)、三男・健(我妻泰熙)の子宝にも恵まれた。幸一はただひたすら家族を愛し、幸せな日々を送っていた。しかし、昭和19年6月、サイパンの日本兵が玉砕し、米軍の沖縄上陸が現実味を帯びてからは、幸せな一家にも暗い影が忍び寄る。そして、47歳になった幸一にも召集令状が…。』



「戦争は幸せな日々を全て奪ってしまう、戦争のない平和な時代に生まれて良かったとつくづく思いました」(一年生男子)「死ぬために生まれてきたのではなく、生きるために生まれてきたという台詞に感動しました」(一年生女子)「戦争をしていいことなんて、一つもありません。人が悲しむだけの戦争をする意味が私には全くわかりません。世界から戦争を無くし、平和な世界であってほしい」(三年生女子)

防災スクールに参加 8月21日(火)

残暑の中、紀央館高等学校で「防災スクール」が開催され、1年生女子4名の生徒が参加しました。午前中、災害ボランティアセンター訓練として、数名の班に分かれ地域に出向き周辺住民に被災後の体調や要望などの聞き取り調査を実施。午後の防災実技講習では①テント設営講習②ロープワーク講習③搬送法講習を受けました。昼食は非常食(α米)と南部高校産の梅干しをいただきました。大きな地震が起きた時、高校生が地域のリーダーとして活動する事を期待しています。



生徒会・夏季ゼミで発表 8月20(月)～21日(火)

生徒会の林君、尾前君、そして昨年高校生フォーラムで活躍した今西さん、上久保さんが県生徒会連絡協議会に参加しました。桐蔭・橋本・貴志川・市和歌山高校の前で、本校の皆さんと連携してすばらしい発表ができました。各校から、約100名の生徒会役員が白浜に集結しました。夜は花火大会で盛り上がり楽しく交流が行われました。



9月の行事予定

9/12 第2回追認考査	9/19 高齢者センター訪問
9/23 全商情報処理検定	9/24～ 制服移行期間

